

原作並脚色者 帝キネ 時代映畫
撮影者 高橋武一 路波

— 主要役割 —

穀屋伴喜八
善兵衛
父

乾源太
母

桑名屋政五郎

目明
客

五兵衛

藤枝
母

お豊

同三五郎

八文の金平

安宿の亭主

その女房

腹の仙太

松本三郎

藤樹一路

喜八

田川桐村

尾嵐実片

枝崎

嵐吉

矢倉

花

川清

廣

精

廷恒

三枝

鶴静

路波

松田

千

嵐

花子

子二郎

松男郎

子子子

子徳



喜八と稻葉小僧　帝キネ 佐藤樹一路作
真品。右より松本三郎、松枝龍子。
略筋——江戸横山町の穀屋の伴喜八は柳橋藝妓（前篇終り）
小戸に藝妓（後篇始り）の娘で、父親善兵衛が勘當を受けた。
旅に出た。その途中喜八は悪人のため金を頬つて出産した。又身重の小尊
明今は陸方盡きて心中せんざ覺悟した折柄兩の小尊、目はさめん。
品である。解説——佐藤樹一路氏の「珍魚」に次ぐ監督作
小戸に藝妓（後篇始り）の娘で、父親善兵衛が勘當を受けた。
旅に出た。その途中喜八は悪人のため金を頬つて出産した。又身重の小尊
明今は陸方盡きて心中せんざ覺悟した折柄兩の小尊、目はさめん。
品である。解説——佐藤樹一路氏の「珍魚」に次ぐ監督作
小戸に藝妓（後篇始り）の娘で、父親善兵衛が勘當を受けた。
旅に出た。その途中喜八は悪人のため金を頬つて出産した。又身重の小尊
明今は陸方盡きて心中せんざ覺悟した折柄兩の小尊、目はさめん。